

春秋会 2023年度 3月総会 プログラム

2024年3月26日(火) 大阪弁護士会館1203号会議室

総会 18:00~19:30

司会 副幹事長 由良尚文

- 1 開会挨拶 幹事長 岩本 朗
- 2 春秋会 物故者を偲び黙祷 副幹事長 由良尚文
- 3 議決事項
 - (1) 選考委員会規則の改正 幹事長 岩本 朗
 - ア 質疑応答、意見
 - イ 決議
 - (2) 次年度幹事(副幹事長、全期幹事及び各期幹事)の選任決議 幹事長 岩本 朗
 - (3) 次年度選考委員の選任決議 幹事長 岩本 朗
- 4 法曹在職40年会員(35期)顕彰 3名
国府 泰道会員、斉藤 真行会員、杉本 啓二会員
- 5 大阪弁護士会会務報告 副会長 高江俊名
- 6 活動報告
 - (1) 2023年度活動報告 幹事長 岩本 朗
 - (2) 各委員会活動報告
 - ア 選考委員会 委員長 岩本 朗
 - イ 政策委員会 委員長 松井淑子
 - ウ 研修委員会 委員長 今井 力
 - エ 広報委員会 委員長 松尾洋輔
 - オ 親睦委員会 委員長 西田 敦
 - カ 若手会 担当副幹事長 西 祐亮
 - (3) 会計報告 副幹事長 足立啓成
 - (4) 報告事項に関する質疑応答
- 7 2023年度執行部退任挨拶、2024年度執行部就任挨拶
- 8 閉会挨拶 副幹事長 溝上絢子

※ 懇親会を19:45~@心たけにて開催いたします※

選考委員会規則の改正について

現行の選考委員会規則は、第3条で委員の選任方法を定めており、3月総会で選任する委員については、投票によって候補者を選出するとしている。そして、投票は、組分けした名簿により行うとしているが、組分けの際、「幹事長」を名簿から除くこととしている（第3条第2項）。

選考委員選出のための投票は、3月総会に先立って、例年2月に実施されているところ、この時点での幹事長は、文理上は、当該年度の幹事長（現職幹事長）ということになる。しかしながら、この条項の趣旨は、選考委員会規則上、幹事長は当然に選考委員になるとされており（第2条第1項）、投票による選出は必要ないことから、投票対象から除外するものと解される。このため、従前、第3条第2項に定める「幹事長」は、現職の幹事長ではなく、次年度幹事長を指すものと解釈して運用がなされてきた。

このように、条項の文理と運用が齟齬していることは適切でないと考えられるため、第3条第2項の「幹事長」を「次年度幹事長」と改める改正を行うことを提案する次第である。

以上

春秋会選考委員会規則中一部改正案 新旧対照表

改正案	現行
<p>(委員の選任方法)</p> <p>第3条 前条第1項第2号の委員（以下「総会選任委員」という。）は、本条に規定する投票によって候補者を選出したうえで、3月総会で選任する。</p> <p>2 幹事長は、投票に先立ち、会員（<u>次年度幹事長</u>を除く）を期の上から順に50名を目途として組分けし、名簿を作成する。ただし、1つの期が2組に分かれてはならない。</p> <p>3 幹事長は、投票締切日を全会員に通知するとともに、前項の名簿と投票用紙を配布しなければならない。ただし、通知日と締切日の間は10日以上空けることを要する。</p> <p>4 会員は、無記名投票により、自己が属する組の内から3名の不完全連記の方法で郵送により投票する。</p> <p>5 開票は締切日から3日以内に幹事長が行い、各組ごとに得票の多い順に3名を、総会選任委員の候補者と定める。候補者を定めるにあたり、得票数が同一である場合は、幹事長の定める方法による抽選により決する。</p> <p>6 幹事長は、3月総会において、総会選任委員の選任決議よりも前に、前5項によって定めた候補者を報告しなければならない。</p>	<p>(委員の選任方法)</p> <p>第3条 前条第1項第2号の委員（以下「総会選任委員」という。）は、本条に規定する投票によって候補者を選出したうえで、3月総会で選任する。</p> <p>2 幹事長は、投票に先立ち、会員（<u>幹事長</u>を除く）を期の上から順に50名を目途として組分けし、名簿を作成する。ただし、1つの期が2組に分かれてはならない。</p> <p>3 幹事長は、投票締切日を全会員に通知するとともに、前項の名簿と投票用紙を配布しなければならない。ただし、通知日と締切日の間は10日以上空けることを要する。</p> <p>4 会員は、無記名投票により、自己が属する組の内から3名の不完全連記の方法で郵送により投票する。</p> <p>5 開票は締切日から3日以内に幹事長が行い、各組ごとに得票の多い順に3名を、総会選任委員の候補者と定める。候補者を定めるにあたり、得票数が同一である場合は、幹事長の定める方法による抽選により決する。</p> <p>6 幹事長は、3月総会において、総会選任委員の選任決議よりも前に、前5項によって定めた候補者を報告しなければならない。</p>

2024年度 幹事

	修習期	氏名
幹事長	48	村瀬謙一
副幹事長(政策)	49	河野豊
副幹事長(広報)	56	小野順子
副幹事長(研修)	57	今井力
副幹事長(親睦)	67	板崎遼
副幹事長(若手会)	72	中西教子
副幹事長(会計)	61	東尚吾
全(政策委員長)	50	上田純
全(広報委員長)	60	河野雄介
全(研修委員長)	55	山本婦紗子
全(親睦委員長)	59	間野泰治
全(若手会代表)	68	前野陽平
全	47	黒田愛
全	64	渡部真樹子

修習期	氏名
~20	久保井一匡
21~23	寺沢勝子
24~26	金子武嗣
27~29	藤原猛爾
30~32	関根幹雄
33	河村利行
34	梅田章二
35、36	村本武志
37	空野佳弘
38	岡村久道
39	井奥圭介
40	松田成治
41	佐井利信
41	財前昌和
42	雪田樹理
43	宮下尚幸
44	斉藤英樹
45	宮岡寛
46	野上昌樹
47	岩谷基
48	堀内康德
49	杉島幸生
49	田中一郎

修習期	氏名
50	小野昌史
51	上出恭子
52	松本智子
53	松本光右
54	鈴木節男
55	中森俊久
55	飛岡恵美子
56	西念京祐
57	家郷資大
57	宇都宮一志
58	佐藤俊
59	山室匡史
60	高橋俊之
60	竹中宏一
60	立野嘉英
61	團野彩子
61	松嶋依子

修習期	氏名
62	室谷悠子
62	舞弓和宏
62	室谷光一郎
63	山中有里
63	繁松祐行
64	染川智子
64	杉田哲明
65	両角麻子
65	片山直弥
66	伊藤知佐
66	馬越俊佑
67	石田明子
67	櫻井聡
68	清水亮宏
68	高山竜嗣
69	山上誠
69	森佳介

修習期	氏名
70	稲生貴子
71	村本健司
71	李厚潤
72	宮崎信二郎
72	川村遼平
73	田中萌奈美
73	徳山慶太
74	神澤鈴子
74	佐々木崇人
75	榎野寛俊
75	橘田弥宙
76	井上信
76	今野敬文

2024年2月29日

春秋会 会員 各位

幹事長 岩 本 朗

2024年度選考委員候補者のご報告

選考委員会規則第2条第1項第2号に基づく2024年度選考委員の選任に関し、同規則第3条に基づき、次のとおり組分けをし、本年2月26日を投票締切日として郵便による投票を実施しました。その結果に基づき、次のとおり候補者を定めましたので、ご報告いたします。

なお、3月総会（令和6年3月26日18時～）にて、選考委員候補者の選任決議が行われますので、ご出席ください。

1 書面投票について

	期	人数	有効投票数
1組	9～25	49	20
2組	26～35	53	26
3組	36～41	60	34
4組	42～47	48	26
5組	48～52	55	31
6組	53～57	57	35
7組	58～60	57	37
8組	61～62	56	29
9組	63～65	56	25
10組	66～68	56	25
11組	69～71	49	22
12組	72～75	59	15

合計 655 325

2 開票結果

同規則第3条第5項に基づいて本年2月28日に開票した結果、得票の多い順に（同一得票者があり、当選者が定数を上回る場合には、それらの得票者につき抽選で決定しました。）次のとおり候補者を定めました。

	期	氏	名
1	21	三上	孝孜
2	23	豊川	義明
3	24	松森	彬
4	28	石田	法子
5	33	岩田	研二郎
6	34	宮崎	裕二
7	36	福田	健次
8	40	中井	洋恵
9	41	青木	佳史
10	42	加藤	高志
11	44	井上	洋子
12	47	黒田	愛
13	48	高江	俊名
14	48	林	邦彦
15	50	上田	純
16	55	西原	和彦
17	55	三好	吉安

18	57	堀川	智子
19	58	奥田	慎吾
20	58	唐崎	浩司
21	60	立野	嘉英
22	61	東	尚吾
23	62	館	康祐
24	62	藤原	航
25	63	植木	和彦
26	63	繁松	祐行
27	65	片山	直弥
28	66	金	星姫
29	66	林	祐樹
30	67	田村	瞳
31	69	阿武	修平
32	69	池田	健人
33	69	今井	綾香
34	72	岩崎	翔太
35	72	倉橋	香緒莉
36	73	公文	大

以上

2024.3.26

会 務 報 告

副会長 高 江 俊 名

- 1 今年度のスローガン
まかせとき 弁護士のカ 全ての街に 全ての人に

- 2 実施済みの主な行事等（1月以降）
 - 2/6～9 分野別登録弁護士による無料法律相談会
 - 2/10 人権フェスタ
 - 2/17 外国人のための一日離婚相談ホットライン
 - 2/27 全国一斉投資被害110番
 - 3/1 法曹界の魅力発見！！ ～実際に話を聞いてみよう～
 - 3/2 大阪府内一斉無料法律相談会
 - 3.11 シンポジウム「広域避難と支援」
－東日本大震災の経験と能登半島地震への対応－
 - 3/14 中小企業の支援を考えるシンポジウム 第7弾!
～求められる地域金融機関・支援機関と弁護士との連携・協働～
 - 3/16 映画「福田村事件」上映会&森監督アフタートーク
 - 3/21 国際人権法連続講座「精神医療と国際人権」
 - 3/23 シンポジウム「今、死刑を考える」
映画「望むのは死刑ですか オウム“大執行”と私」上映会及び対談
 - 3/25 ほうりつのがっこう2024

- 3 会長声明・意見書（1月以降）
 - 1/17 調停委員の採用から外国籍者を除外する運用の改善を求める会長
声明

3/6 健康保険証を廃止しマイナンバーカードでの被保険者資格の確認
(マイナ保険証)に一本化する政府方針に反対する会長声明

4 人権救済

3/8 刑務所で受刑者の髪型を丸刈りにすることの人権侵害 (勧告)

3/8 拘置所における監視カメラによるプライバシー侵害 (勧告)

3/8 刑務所における薬剤情報の文書での提供 (要望)

3/25 文科省通知によるインクルーシブ教育を受ける権利の侵害 (勧告)

3/25 拘置所における監視カメラによるプライバシー侵害 (警告)

3/25 拘置所における通称使用 (勧告)

5 その他

- HP 掲載の月報巻頭インタビュー「オピニオンスライス」をスマホ対応にしました

春秋会 2023 年度 活動報告（概括）

2024 年 3 月 26 日

2023 年度幹事長 岩 本 朗

1 2023 年度の春秋会

会員数 671 人（2024 年 3 月 21 日現在）。76 期新入会員 17 人。

近年の春秋会は、委員会活動が活発に行われており、各委員会の努力があって、多くの若手会員が参加している状況にある。

今年度は、会派としての各種活動は大きくは委員会の自主性に任せつつ、会全体の交流や会員相互のつながりが深まるよう配慮して会の運営を行ってきた。

新入会員についてやや伸び悩み傾向があり、会の財政状況も考慮し、会費減額に関する PT を設置して、会費減額の可否等について諮問し、答申を得た。

2 各活動の概況

1) 総会（年 3 回）

9 月総会	9 / 28	出席	リアル 33 名	ウェブ 6 名	委任状 188 通
12 月総会	12 / 25	出席	リアル 34 名		委任状 176 通
3 月総会	3 / 26				

2) 幹事会（月 1 回、12 時～13 時） 幹事総数 85 名

4 / 18 (28)、5 / 17 (23)、6 / 21 (27)、
7 / 19 (27)、8 / 23 (29)、9 / 20 (23)
10 / 18 (23)、11 / 15 (14)、12 / 20 (19)
1 / 17 (27)、2 / 21 (23)、3 / 19 (20)

※カッコ内は出席者数

- ・原則としてウェブ開催・選考委員会と連続して開催する場合はハイブリッド
- ・委任状提出の電子化
- ・幹事懇親会を開催（2 回）

3) 正副幹事長会（月 1 回、12 時～13 時を原則）

4) 各種委員会

別途各報告あり

5) 年間の主要な行事（各委員会による企画は別紙を参照）

前年度役員慰労会（4/24）、暑気払（8/2）、新人歓迎会兼副会長当選祝賀会（1/29）
新人歓迎旅行（2/17/18 広島方面）

3 財政・会計 ※ 具体的内容は別途会計報告を参照

- 1) 支出 委員会活性化費を予算化して支出
- 2) 収入 特別拠出金の拠出依頼を停止（単年度）

4 大阪弁護士会等の会務への協力

- 1) 各企画行事への参加協力
 - 2) 各種委員会委員長、副委員長、委員の推薦
 - 3) 民事・家事調停委員、交通事故紛争処理センター委員等の推薦
- ※ 具体的な本年度の実績は別紙を参照

5 本年度行った新しい課題

会費減額について検討するためPTを設置して答申を得た。

6 次年度に引き継いだ課題

- 1) 会費減額についての検討（規則改正）
- 2) 春秋の日の開催（再開）

以 上

(別紙)

2023 年度 大阪弁護士会会務等への協力 実績一覧

1 弁護士会会務への参加協力

	要請	実績
・役員披露会(4/19)	8人	10人
・定期総会(5/30)	21人	21人
・日弁連定期総会(6/16)	10人	12人
・非常勤裁判官任官激励会(9/13)	7人	8人
・日弁連臨時総会(12/8)	2人	3人
・新年祝賀会(1/5)	26人	28人
・臨時総会(3/5)	21人	22人

2 弁護士会各委員等の推薦

(各種役員)

・副会長	1人
・常議員	10人
・日弁連代議員	8人
・近弁連理事	5人

(委員会委員長等)

・法律相談センター	委員長	1人
・業務改革委員会	委員長	1人
・司法修習委員会	副委員長	2人
・司法委員会	副委員長	1人
・綱紀委員会	副委員長	1人
・紛議調停委員会	副委員長	1人
・広報委員会	副委員長	1人
・公益活動推進委員会	副委員長	1人
・法72条委員会	副委員長	1人

(委員会委員等)

・業務引受弁護士	12人
・資格審査委員	正1人、予備1人
・綱紀委員	15人
・市民窓口担当員	11人

- ・ 司法修習委員 5人+14人
- ・ 運動会実行委員 10人
- ・ 修習生スタッフ弁護士 14人
- ・ 23条小委員会（司法委員会） 1人
- ・ 紛議調停委員 1人
- ・ 公益活動推進委員 1人
- ・ 選挙立会人 3人
- ・ 民事裁判改善等若手懇談会委員 3人
- ・ 研修センター運営委員 2人
- ・ 日弁連若手カンファレンス参加者 1人
- ・ 新入会員会派説明会参加者 5人
- ・ 新人独立弁護士等指導委託担当 1人
- ・ 会館運営 WG 委員 1人

3 弁護士会推薦委員の推薦

- ・ 民事調停委員 2人
- ・ 家事調停委員 2人
- ・ 交通事故紛争処理センター委員 3人
- ・ 大阪府営住宅業務委託 1人
- ・ 弁護士国民年金基金推進委員 1人

2024年3月22日

2023年度 春秋会 3月総会 政策委員会 年間会務報告

政策委員会 委員長 松井淑子

1 2023年度 政策委員会 概要

- (1) 委員数：ML登録人数 現在30名。参加実績 毎回9名前後。
 (2) 委員会開催：毎月WEB_12時—13時

2 活動実績

- (1) 6月30日「若手必見！インボイスを無視して大丈夫？」 R1205&WEB
 ・参加者数105名（リアル参加者：5名、WEB参加者：100名超）
 ・アンケート結果：回答者23名。概ね好評。消費税法の基本から、対話形式によって分かりやすかった等
- (2) 10月30日「税務調査と弁護士—弁護士が活躍できる理由—」 R1205&WEB
 ・参加者数49名（リアル参加者：9名、WEB参加者：約40名）
 ・アンケート結果：回答11名／9名が満足以上。2名普通。刑事弁護と同じように依頼者の利益を図ろうとする面からすると弁護士の活躍できる領域と考える。
- (3) 1月23日「AIと憲法-海外はAI規制にどう対応しているか-」 R1001&WEB
 ・参加者94名（リアル参加者：32名、WEB参加者：62名）
 ・アンケート結果：講演内容については、アンケート結果では概ね好評。

3 会計報告

1 委員会

	1 インボイス企画 (講師1名)	2 税務調査と弁護士企画 (講師2名)	3 AIと憲法企画(講師1 名・東京・宿泊)
講師謝礼等	¥55,000	¥66,360	¥97,190
会場費その他	¥27,561	¥9,900	¥37,020
	¥82,561	¥76,260	¥134,210
	合計		¥293,031
	予算		¥450,000
	予算消化率		65%

2 委員会活性化費

	1 6月20日AI勉強会終了後、 (きしがみ)	2 インボイス勉強会企画 終了後懇親会 (タベルナキクタ)	3 税務調査と弁護士企画 終了後懇親会 (きしがみ)	4 憲法とAI企画 終了後懇親会 (タベルナキクタ)	5 3月18日次年度 に向けて (伊々)
対象委員の人数	6名	9名	10名	10名	6名
	¥18,000	¥27,000	¥30,000	¥30,000	¥18,000
	合計				¥123,000
	予算				¥504,000
	予算消化率				24%

3 まとめ

年間金額合計	¥416,031
総合予算	¥954,000
予算消化率	44%

4 課題

2023年度、70期代2人の活躍。60期代、70期代の参加者の獲得、春秋会政策委員会の存在価値・意義の伝え方のさらなる検討。以上

2023年度3月総会 活動報告

研修委員会

研修委員長 今井 力

実施日／テーマ	内容	参加人数
2023年5月17日(水) 「離婚研修」 ※若手会共催 講師：高坂明奈 会員	リアル会場とZoomのハイブリッド形式による研修。受任段階、調停、面会交流に至るまで多くのテーマについて、「プロセス」「共感」などキーワードを交えて実践的な講義をいただきました。	約50名
2023年6月30日(金) 「インボイス、無視して大丈夫!？」 ※政策委員会共催	政策委員会の報告に譲ります	
2023年7月14日(金) 「靴磨き・革製品ケア研修」 講師：宮田周平氏 (靴磨き処「ダンディズム」)	実際にケアしたい靴・革小物を参加者に持参いただき、講師と一緒にケアをしながら学ぶOJT研修。「気軽に作れる家庭料理」のごとく、気軽に行うことができ、かつ、実用的なケア方法を学ぶことができました。	28名
2023年10月11日(水) 「刑事弁護研修」 ※若手会共催 講師：小橋るり 会員 藤原 航 会員	捜査から公判まで、幅広いテーマについて、対談形式で実務的ノウハウを講義いただきました。	約40名
2024年2月10日(土) 10時10分～ 映画「プリズン・サークル」 大阪弁護士会：人権フェスタ（人権擁護委員会主催）	官民協働の新しい刑務所「島根あさひ社会復帰促進センター」をテーマとした映画上映企画。坂上香織監督、金沢泰裕牧師、黒田愛会員とのトークショーを開催しました。	128名
2024年2月26日(月) 18時00分～ 「ヒヤリハット研修」 講師：上出恭子 会員 山本 淳 会員 清水伸賢 会員	一般民事、企業法務、刑事弁護の多分野にわたるヒヤリハット研修を実施しました。 Zoomなし、大阪弁護士会でのリアル参加のみです	約35名

以上

春秋会広報委員会 2023 年度活動報告

広報委員長 松尾洋輔

1. 広報委員

27 名（含む副幹事長）

2. 定例委員会

毎月第 2（または第 3）金曜日開催

3. ニュースレター発行

月 1 発行（4 月号から 3 月号）

春秋会の各種イベントレポート、好評を博した廣瀬委員の島巡り記事など。

4. 会報発行

・ 2023 年 9 月秋号

・ 2024 年 3 月春号（春秋会ウェブサイトにて公開中）

取材旅行

秋号向け 東北（震災復興）

春号向け 長崎（諫早湾開門訴訟）

5. 全体のまとめ・今後の課題等

ベテラン委員の献身により運営は安定。毎月の委員会後の懇親会も盛り上がった。

個人的には、公約？に掲げた AI を活用した記事にも取り組めて満足。

今後は新しいメンバーを獲得し、ニュースレター記事のさらなる充実など、会員間の交流をいっそう促進させる媒体作りを目指していただきたい。

以上

2023 年度 春秋会 3 月総会 親睦委員会報告

親睦委員長 西田 敦

1 2023 年度 親睦委員会 概要

委員数：登録者数 29 名 参加者数 10～12 名

委員会開催

2023 年 4 月 12 日 5 月 8 日 6 月 5 日 7 月 3 日 8 月 10 日 9 月 11 日 10 月 2 日 11 月 6 日 12 月 11 日

2024 年 1 月 15 日 2 月 5 日 3 月 18 日

2023 年度運営方針：会派内の親睦を図る。若手が積極的に運営に参加できるように新しい事業を行う。

2 活動実績

令和 5 年 5 月 29 日 謎解きゲームイベント（若手会と共催）

4 人でチームを組んで、直木賞作家が作成した推理謎解きゲームを行うイベント。チルコロで食事をしながら、チームで協力し合いながらゲームを解くことにより、会員間の懇親を行った。参加者は皆熱心にゲームに取り組んでおり、またチーム内での連携が行われ、好評いただけた。

参加者：20 名

費用：60,523 円（若手会と折半）

令和5年8月2日 暑気払い（若手会と共催）

コロナ禍が空け、数年ぶりに大人数での宴会イベント。イントロクイズやジェスチャークイズなど、テーブルごとにチームで分け、様々なゲームを行い、歓談だけでなく、ゲームを協力することによって会員や事務局との懇親を行った。ジェスチャーゲームでは多くの会員に演技していただき、非常に盛り上がった。

参加者：58名

費用：163,385 円（若手会は別途6万円負担）

10月21日（土） 宝塚観劇イベント

宝塚観劇を通じて、会員同士の懇親を図る。参加者25名。募集終了。

開催直前に事件が起こり、開催中止。参加景品のみ配布。

11月15日（水） ワインの夕べ

リーガロイヤルホテル大阪にて、食事と共に、食事に合わせたワインを、ソムリエから解説を聞きながら楽しみ、参加した会員同士の懇親を図った。参加者50名ほど。ワインの量など、少なかったという声があった。来年へ活かす。

11月25日(土) グルメ企画(東天満の歩き方)

親睦委員の一人を含めたジャズの演奏を隠れ家ワインショップでワインを飲みながら楽しみ、同ワインショップを含めて東天満をハシゴし、参加した会員同士の懇親を図った。参加者16名ほど参加。少人数でワイワイ楽しめた。

1月29日(月) 副会長就任祝い&新人歓迎会 参加者80名

多くの方に参加していただき、大盛況だった。会計の大変さ、恒例で花束を贈呈するイベント、その他改善点もあったため、次年度以降に引き継ぎ。

2月10日 劇団四季観劇 20名参加

同伴の子どもたちも含めて、好評に終わった。

2月17日~18日 新人歓迎旅行 広島・尾道 31名参加

参加費が高いとの声もあったが、1泊だから海外旅行やその他の旅行よりも低額にすると不公平感がないように企画した。物価は上がっているため、少し値上がりは仕方ないかと思われる。

3月21日 ラーメン企画 9名参加

少人数ながら、同伴の子供さんも含めて、和気あいあいと懇親を図ることができた。

※新人会員に対し、恒例の、名前入れペンを送付手続き中。

3 全体のまとめ・今後の課題等

従前からの恒例のイベント及び若手中心のイベントなど、多くのイベントを開催し、また沢山の会員の方々に参加していただき、春秋会員内での懇親を図ることができた。

今後の課題としては、参加者は若手やベテランの参加が多いが、間の期の会員の参加が少ない傾向にある。小さい子供の育児世代が多いためだと思われるが、そのような会員の参加ができるような企画も検討していく必要がある。

以上

若手会 2023 年度報告（3月総会）

2024 年 3 月 26 日
若手会世話役代表
安原 邦博

【若手会世話役】 9 名（67 期～75 期）

【会議】 概ね月 1 回の頻度で開催し、若手の業務や懇親等に役立つ企画の立案検討等をおこなっている。

第 1 回 4 月 11 日、第 2 回 5 月 9 日、第 3 回 5 月 31 日、
第 4 回 6 月 28 日（会議後に世話役懇親会を実施）、
第 5 回 7 月 24 日、第 6 回 8 月 17 日、第 7 回 9 月 11 日
第 8 回 10 月 16 日、第 9 回 11 月 13 日、第 10 回 12 月 6 日
第 11 回 1 月 18 日、第 12 回 2 月 16 日、（3 月 22 日お疲れ様会）

【今年度実施した企画】

・若手会単独で実施した企画

6 月 9 日 18 時～破産研修@ハイブリッド（講師：浦寛幸会員）
8 月 24 日 18 時～破産研修@ハイブリッド（講師：浦寛幸会員）
10 月 31 日（17 時 30 分八軒家浜船着場集合）18 時～やかた船クルージング
11 月 29 日 19 時～ 街 BBQ@なんば
（2024 年）
2 月 6 日 18 時 30 分～美食会
3 月 1 日 18 時 30 分～追いコン兼新人歓迎会@ラブセントラル

・研修委員会との共催

5 月 17 日 18 時～離婚研修@ハイブリッド（講師：高坂明奈会員）
10 月 11 日 18 時 30 分～刑事弁護研修@大弁 1205
（講師：小橋るり会員、藤原航会員）

・親睦委員会との共催

5 月 29 日 18 時～謎解きゲーム企画@チルコロ
8 月 2 日 18 時～暑気払い@中之島ソーシャルイートアウェイク

・各会派対抗若手会ゴルフ

11 月 18 日 4 位

【総括】

各企画とも盛況で、若手間やその他の世代とのつながり等を深められた。

2023年度 予算執行状況 経過報告書

資料 1 2

2023年4月14日～2024年3月13日

		予算額	執行状況	執行割合	備考
収入					
	会費	10,000,000	9,460,000	94.60%	※2021年度会員数(668名)、2022年度会員数(677名)、2023年度会員数(662名) ※2024.3.15時点
	特別拠出金	0	210,000		※2023年度は特別拠出金の納入をお願いしていないため
	懇親会会費等収入	0	2,723,596	-	※新人歓迎会兼当選祝賀会502,680円、新人歓迎旅行2,220,916円
	選挙予納金戻金	630,000	0	0.00%	※選挙予納金が一部還付予定
	その他	0	0	-	
収入計		10,630,000	12,393,596	116.59%	
支出					
経常費		2,370,000	1,727,013	72.87%	
	施設費	200,000	78,320	39.16%	※会議室使用料(幹事会、選考委員会、総会、各期幹事会等)
	通信費	600,000	211,678	35.28%	※FAX-斉送信費用(1回あたり約16,000円 1枚24円)、ドロップボックスライセンス料、ZOOM利用料、FAX個別送信費用(1枚10円)
	嘱託報酬	1,320,000	1,210,000	91.67%	※月額110,000円
	事務費	200,000	202,705	101.35%	※コピー代等
	その他支払手数料	50,000	24,310	48.62%	※振込手数料等
政策委員会		480,000	282,411	58.84%	
	勉強会・意見交換会実施費用	100,000	83,661	83.66%	※年2回実施 通信費、講師謝礼交通費、施設費
	政策シンガ実施費用	320,000	198,750	62.11%	※年2回実施 通信費、講師謝礼交通費、施設費
	雑費	60,000	0	0.00%	反訳費用等
広報委員会		2,830,000	1,062,204	37.53%	
	会報(春号・秋号)	2,400,000	878,740	36.61%	※秋号春号とも基本的に電子ブック
	ホームページ・サーバーレンタル費	30,000	1,668	5.56%	
	ホームページ改修等費用	100,000	41,800	41.80%	ページ更新料等
	取材費用	300,000	139,996	46.67%	
研修委員会		500,000	283,050	56.61%	
	研修費用	500,000	283,050	56.61%	研修、映画上映会(講師謝礼、会場費用、上映料金等)
親睦委員会		1,050,000	970,142	92.39%	
	親睦費	1,050,000	970,142	92.39%	
若手会		1,000,000	1,000,000	100.00%	
	若手会補助金	1,000,000	1,000,000	100.00%	※渡切り、独自会計。
若手会員活動活性化費		3,000,000	3,462,220	115.41%	
	新人歓迎旅行補助金	2,700,000	3,456,220	128.01%	(参考)旅行代金収入との差額1,235,304円)
	企画参加促進費	300,000	6,000	2.00%	※2022年度新設。企画参加促進費は年30万円を上限。
その他		3,962,000	1,611,918	40.68%	
	弁護士会等行事参加促進費	250,000	0	0.00%	※2018年度新設
	選挙予納金	700,000	730,000	104.29%	
	慶弔費	250,000	66,930	26.77%	※慶弔規則による(香典、独立祝い等)
	登録40周年記念品	30,000	26,400	88.00%	※慶弔規則による(2023年度35期3名)。1人10000円。
	委員会活動運営補助費・活性化費	2,232,000	513,000	22.98%	※2022年度新設。3000円×各委員会人数×6(政策28、広報26、研修25、親睦28、若手会9、正副8)
	懇親費	300,000	156,500	52.17%	役員懇親会の補助等
	その他	200,000	119,088	59.54%	会費誤入金返金、会長等当選祝花代
支出計		15,192,000	10,398,958	68.45%	
2024.3.13時点収支差額			1,994,638		
2022年度からの繰越金			24,150,047	-	※2023.4.14時点
			26,144,685	-	※2024.3.13時点通帳残高